2019 年 5 月 24 日

認定 特定非営利活動法人
安全安心科学アカデミー

平成 30 年度事業報告

１．事業期間

平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日

２．事業の成果

特定非営利活動法人安全安心科学アカデミー（以下、NPO と言う）設立の目的である、住民と共に放射線・原子力の問題についてコミュニケーションを図り、エネルギー問題、地球温暖化問題、環境問題、放射線、原子力等に関する諸問題を住民主導で対処できるようにするための事業活動を行った。その概要を示す。

1. 特定非営利活動に係る事業

（１）社会教育の推進を図る活動

項　目	計　　画	実　　績	評価
1）ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞによる広報活動		例年通り実施　概要は別紙報告	例年通り
2）会員・一般企業に資料配布 NPO の趣旨に関連する資料の配布		１.2019 年版の若狭カレンダー （関西原子力懇談会提供）　（2018 年 12 月）	例年通り
3）講演会	NPO に関連した各種講演会・勉強会の開催	1.講演会　2018.5.24（木） ○『脳情報科学が拓く未来社会』 田口 隆久氏　情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター　副研究センター長 ○『人間の価値観の変化と新たな経済・社会システムの台頭』 二宮 清氏 ダイキン工業㈱元常務取締役電子技術研究所長 参加者：39 名 2. 講演会　2019.3.22（金） ○『日本のｴﾈﾙｷﾞｰ問題と今後の原子力政策について』 吉村一元氏　経産省 資源エネルギー庁電力･ガス事業部放射性廃棄物対策技術室長兼広報室長 ○『電気事業と我が国のｴﾈﾙｷﾞｰ問題について』 山﨑吉秀氏　関西原子力懇談会　顧問 参加者：40 名	例年通り

項　目	計　　画	実　　績	評価
4) e ラーニング通信教育による X線作業主任者受験準備講習の推進		X線作業主任者受験準備講習広報活動 ・申込状況：2 件の申し込みあり	例年通り
5) 保物セミナー2018 の共催	保物セミナー2018 NPO の共催事業として推進する。	保物セミナー2018 時期：2018.11.15(木曜)　13:00～18:00 ﾎﾞｲﾘﾝｸﾞﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ　18:30～20:00 2018.11.16(金曜)　9:30～17:00 場所：大阪科学技術センター 共催：電子科学研究所、大阪科学技術センター 日本保健物理学会、安全安心科学ｱｶﾃﾞﾐｰ 参加者： 133 名 詳細は NPO の HP 参照	例年通り
6)安全安心管理士（非破壊検査）資格認証講習	日本非破壊検査協会の有資格者を対象に教育・実習を実施する	○ 安全管理士養成講座を 4 回開催 ・第 1 回 2018 年 12 月 3 日(大阪) 13 名参加 ・第 2 回 2018 年 12 月 7 日(東京) 15 名参加 ・第 3 回 2019 年 1 月 22 日(大阪) 18 名参加 ・第 4 回 2019 年 1 月 24 日(東京) 14 名参加	計画通り
7) 放射線安全管理士講習	放射線管理員を養成する為の教育・実習を実施する	○ 放射線安全管理士養成講座を 1 回開催 ・第 1 回 2019 年 1 月 28,29 日　17 名参加	例年通り

1)ホームページによる広報活動の概要

＜今年度のホームページへのアクセス数＞

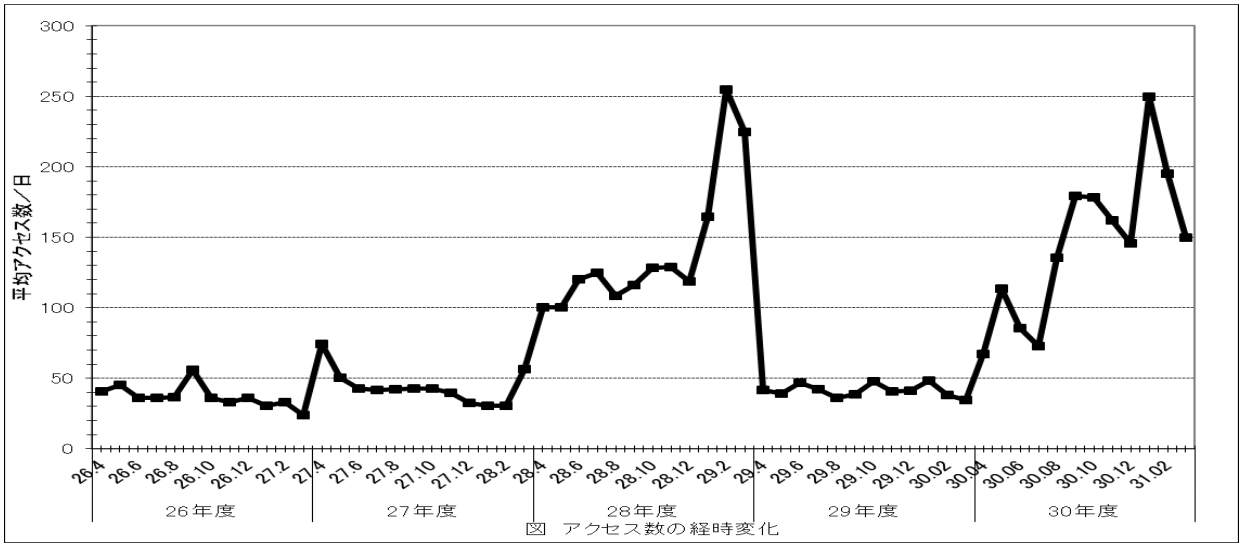

図　ホームページ閲覧数の変化

平成 30 年度はエネルギー問題で、下記の『原発を止めるリスク』記事の閲覧が増えた為、9 月以降に HP のアクセス数が多かった。

・北海道電力　電力供給網“大停電はなぜ起こったか　冬までに泊原発を再稼動して命を守れ”：
　池田信夫　　2018/9/9(日)

・「原発を止めるリスク」北海道大停電が教えてくれた再稼動の意義:産経新聞 IRONNA 2018/09/12
　奈良林直（東京工業大特任教授）

＜ホームページの年度閲覧頁ベスト20＞

表にHPの年度閲覧**頁**ベスト20を示した。

・このHP閲覧頁数の年間ランキングから、一般の方の興味が読み取れる。

・ベスト20の中でもベスト１が他と比較してずば抜けて多い。これは『放射線の安全』等で検索すると検索結果の10ページ位でNPO HPにヒットするためと考えられる。

・ベスト2以下はベスト１のページからの横流れで閲覧されているものが多数あると考えられる

・ベスト20の中には、HP掲載後10年近く経過しているものが多い。これは、文献として他のHPから評価を受けてリンク・閲覧されているものと考えられる。そのため、例年同じ顔触れの傾向である。

表　年度閲覧頁ベスト20

ﾗﾝｷﾝｸﾞ	年度閲覧数合計	文　書　名	同　所　属	作成者
1	32090	放射線の健康レベルと危険レベル(図示) 2011	安全安心科学アカデミー	事務局
2	5538	日本人のがんと世界の人のがん2006	近畿大学原子力研究所	武部啓
3	3501	自然放射性物質による被ばく (モナザイトに着目して)2006	東京大学原子力研究総合センター	杉浦紳之
4	2958	ICRP2007年勧告について　ESI-NEWS 2008	放射線医学総合研究所	米原英典
5	2884	小児白血病　保物セミナー2009	大阪市立総合医療センター	原純一、Junichi
6	2482	放射線被ばくと甲状腺がんについて 保物セミナー2013	放射線影響協会	長瀧重信
7	2461	放射性セシウムの特性と除染に向けての企業や団体の取組み　保物セミナー2011	京都大学	藤川陽子
8	1931	デンタルX線最影における被曝線量減少策としての防護エプロン着用に関する見解 2003	北海道医療大学歯学部附属病院放射線部	輪嶋隆博
9	1844	放射線治療による被曝への不安に向けて 2010	藤田保健衛生大学	下道國
10	1803	放射線源の安全確保とセキュリティ 保物セミナー2007	社団法人日本アイソトープ協会	木村俊夫
11	1626	PET装置とサイクロトロン2004	京都医療技術短期大学	向井孝夫
12	1501	最近の放射線治療の動向：定位放射線治療と寡分割照射　ESI-NEWS2010	弘前大学	細川洋一郎
13	1492	トリチウムは環境中で濃縮されるか：トリチウムに生物濃縮はあるか	核融合科学研究会委託研究報告書から抜粋	低線量放射線の健康影響に関する調査
14	1452	医療被ばくの正当化と最適化保物セミ ナー2009	大分県立看護科学大学	伴信彦
15	1447	日常生活で受ける 放射線 (小冊子)20011	安全安心科学アカデミー	事務局
16	1399	第5報電離箱サーベイメータ測定値のバラツキと応答性　ESI-NEWS 2011	非破壊検査(株)	藪下延樹
17	1355	人は如何に生きるべきか2007	安全安心科学アカデミー	辻本　忠
18	1329	第1報デジタル測定値バラツキの正体 ESI-NEWS 2011	非破壊検査(株)	藪下延樹
19	1118	放射線は、少しなら、安全で発がんの危険性はない2004	大阪大学名誉教授	近藤宗平
20	1089	劣化ウランの放射線及び重金属毒性による影響について2004	放射線医学総合研究所	土居雅広

＜掲載項目＞

○ 放射線被ばくの健康影響　○ 放射線防護の議論　○ リスクコミュニケーション　○ 医療放射線
○ 放射線照射利用　○ ICRP　放射線規制法令　○ トリチウム　○ 地球環境　○ 放射線教育
○ 原子力災害への対応　○ 放射線管理　○ 放射線の単位用語・測定　○ エネルギー問題 ○ 廃棄物
○ 環境放射線　○ 原子力と環境問題　○ おすすめの本　○ トピックス　○ スクラップ記事
○ アスベスト問題　○ 放射線・原発報道の解説＆論評　○ 放射線事故　○ 電磁界（電磁波問題）
○ 安全安心科学アカデミーの案内
○ 放射線・エネルギー・環境・サイエンスに関する情報と議論（他サイト情報リンク）」

＜執筆者＞

30 年度 12 名　（ 累計延べ 414 名 ）

＜論文数＞

30 年度 22 編（ 抄録 等 ）（ 累計 464 編 ）

＜広報・案内＞

・保物セミナー、勉強会の案内、 講習会、お知らせなど 10 件
・外部サイトリンク情報　5 件

＜NPO 事業の広報＞

・e ラーニングによるエックス線作業主任者 受験準備講習の HP での案内
・「放射線安全管理士」認証の案内

（２）地域安全活動

項　目	計　　画	実　　績	評価
1)メールマガジンによる広報	NPO 会員及び関係者団体に対しいて随時 E ﾒｰﾙによる情報発信を行う。	5/7　2018 年度第 1 回講演会の案内 6/6　大阪ﾆｭｰｸﾘｱｻｲｴﾝｽ協会開催 島津製作所創立記念資料館見学会案合 8/27「保物セミナー2018」の案内 11/7「保物セミナー2018」の案内 1/9　活動報告及び Twitter の開始について 3/1　第 2 回講演会案内	例年通り
2)委託研究の受託		・日本原子力文化財団　支援事業 『地層処分事業の理解に向けた選択型学習支援』 見学地：青森県六ケ所村 日本原燃株式会社　再処理工場 実施日：事前勉強会　2018 年 11 月 17 日(土) 見 学 会　2018 年 11 月 19 日(月) 対象者：近畿圏内の大学生 参加者：13 名 ・平成 30 年度経済産業省　支援事業 『原子力の安全性向上を担う人材育成事業』 ・2019 年非破壊検査協会研究助成金	採択 不採択 不採択

（３）国際協力の活動

項　目	計　　画	実　　績	評価
1)台湾・中国との交流活動		台湾の大学へ資料提供及び朱先生と情報交換	例年通り

（４）他団体と運営又は活動に関する連絡、助言又は援助活動

項　目	計　　画	実　　績	評価
1)他団体と協賛・協力して市民活動を行う。 2)NPO 諸団体と連絡・調整を行う。		出前授業　チームＥＥＥ 講師：京都大学　幸浩子氏 授業名　【エネルギーや放射線を知って、 地層処分を考えよう】 保物セミナー2018 の開催及び同セミナーの 連絡・調整	例年通り

４．社員総会等の開催状況

項　目	計　　画	実　　績	評価
理事会／総会	平成 30 年度 第 1 回理事会	2018.5.24 （木）　出席者　6 名 下記 3 件が提案され原案通り決議された。 1. 2017 年度事業報告と活動計算書 2. 2018 年度事業計画と活動計算書 3. 任期満了に伴う役員選任の件	例年通り
	平成 30 年度通常総会	2018.5.24（木）　出席者 15 名、委任状 31 名 計 46 名 上記第 1 回理事会決議事項　同上 1～3 について討議、原案通り決議された。	例年通り
	平成 30 年度 第 2 回理事会	2018.6. 1（金）　出席者　7 名 下記 1 件が提案され原案通り決議された。 1. 理事長及び副理事長の選定 理事長：「辻本　忠」 副理事長：「山本幸佳、飯田敏行」で決議された。	例年通り
	平成 30 年度 第 3 回理事会	2019.3.22（金）　出席者　8 名 下記の項目について討議 ・ 2019 年 4～5 月の収支（案）は原案通り決議された ・ 2018 年度事業報告等	例年通り

５．その他の事業

なし

以　上